

10月20日全校朝会「デフリンピックについて」

全校のみなさん、おはようございます。

今日はデフリンピックのお話をします。デフリンピックとは、デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳が聞こえない」という意味です。デフリンピックは「聞こえない・聞こえにくい人のためのオリンピック」なのです。

デフリンピックはオリンピックと同じように4年に1度開かれます。ルールはオリンピックとほぼ同じですが、耳の聞こえない人のために様々な工夫がされています。例えばスタートの合図は、「音」の代わりに「目」で見えるように合図を送ります。

デフリンピックは100年の歴史を持つ大会ですが、今まで日本では開かれることはありませんでした。ですが、今年初めて東京で開催されることになりました。調布ではバドミントンの試合が行われます。滝坂小学校からは4年生が代表して試合を見に行きます。耳が聞こえない人は、見た目からは聞こえないことがわかりません。そこで「目に見えないしょうがい」とも言われます。デフリンピックは、聞こえる人と聞こえない人の間にある「目に見えない壁」を取りのぞくきっかけになるとも言われています。みなさんもぜひ関心をもってください。

それではこれでお話を終わります。今週もみんな仲良く、元気に過ごしましょう。